

積水メディカル(株)の第1実験棟における 床下汚染の立入調査結果について

令和4年8月12日
防災・危機管理部原子力安全対策課

令和4年8月4日に積水メディカル株式会社創薬支援センターにおいて、第1実験棟の床下配管の破断による床下汚染が発生したことについて、その状況及び周辺環境の空間線量率に異常が無いことを確認するため、県は、8月5日に東海村とともに、下記のとおり立入調査を実施しました。

記

- 1 実施日時
令和4年8月5日（金）10時55分 ～ 13時00分
- 2 実施者
県、東海村
- 3 立入調査結果
以下のことについて、聞き取り、関係書類及び現場調査で確認した。
 - 空間線量率（事業者が測定した空間線量率結果をその場で確認）
 - ・ 第1実験棟床下配管周辺（廊下・111室等の床下、合計3箇所）：0.08～0.09（ $\mu\text{Sv/h}$ ）
 - ・ 当該施設周辺（東西南北、合計4箇所）：0.07～0.10（ $\mu\text{Sv/h}$ ）
 - ・ 事業所敷地境界（東西南北、合計4箇所）：0.07～0.08（ $\mu\text{Sv/h}$ ）
 - 以上のことから、空間線量率の測定結果に異常が見られないこと。
 - 土壌のスミヤ測定
 - ・ 立入調査前に事業者が実施した第1実験棟周辺のスミヤ測定場所（合計6箇所）について確認した。
 - 拡大防止対策
 - ・ 床下配管入口の周辺に立入禁止措置が取られていたこと。
 - ・ 配管に排水が流れないように従業員及び施工業者に排水禁止の周知がなされていたこと。
- 4 要請事項
 - ・ 原因究明を進め、進捗について報告を随時行うこと。
 - ・ 環境への影響調査を引き続き実施すること。
- 5 今後の予定
原因調査や再発防止対策について事業者から引き続き報告を聴取し、必要に応じて立入調査等で対応状況を確認していく。